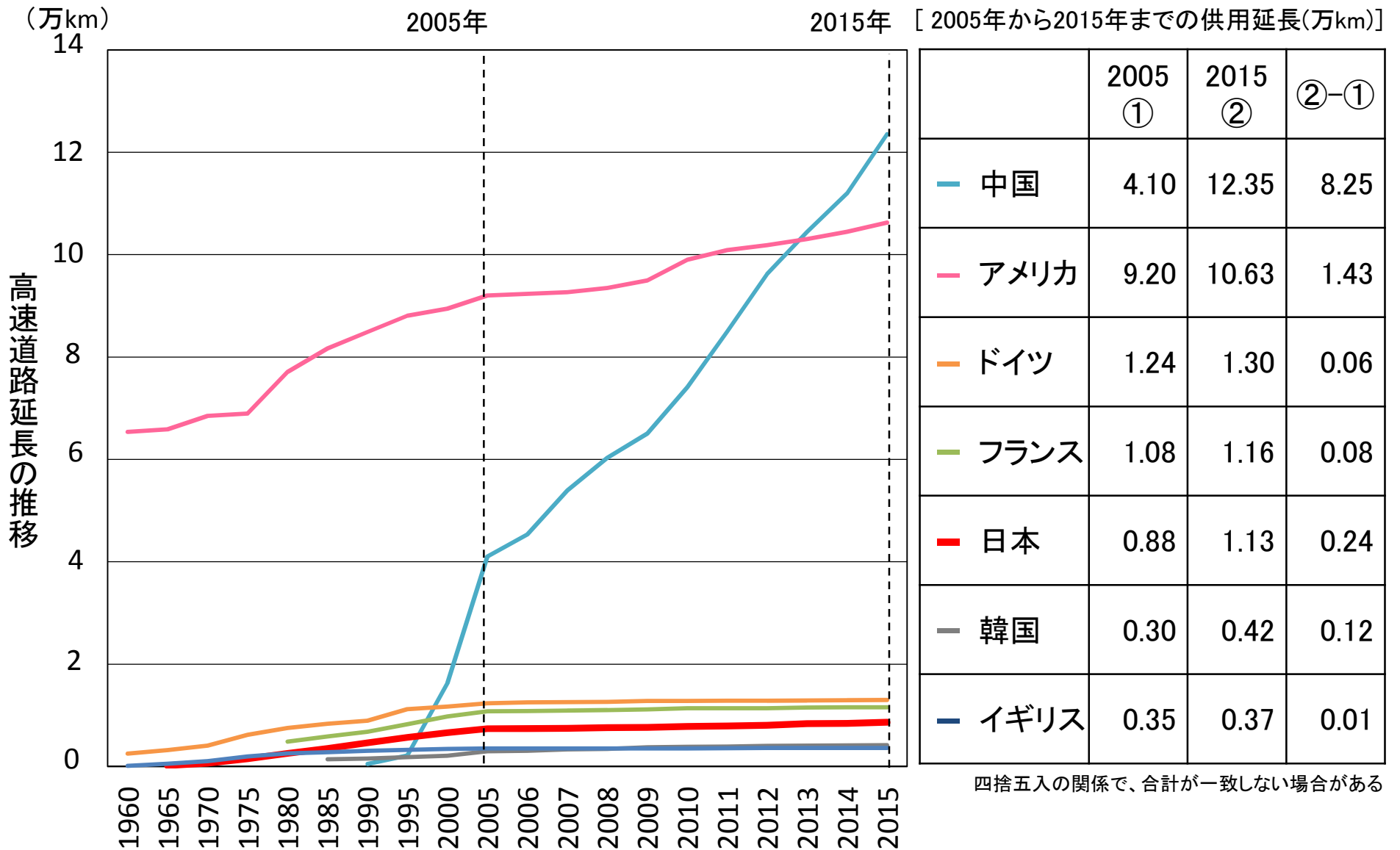


今後の災害・物流ネットワークのあり方

参考資料

諸外国の高速道路延長の推移



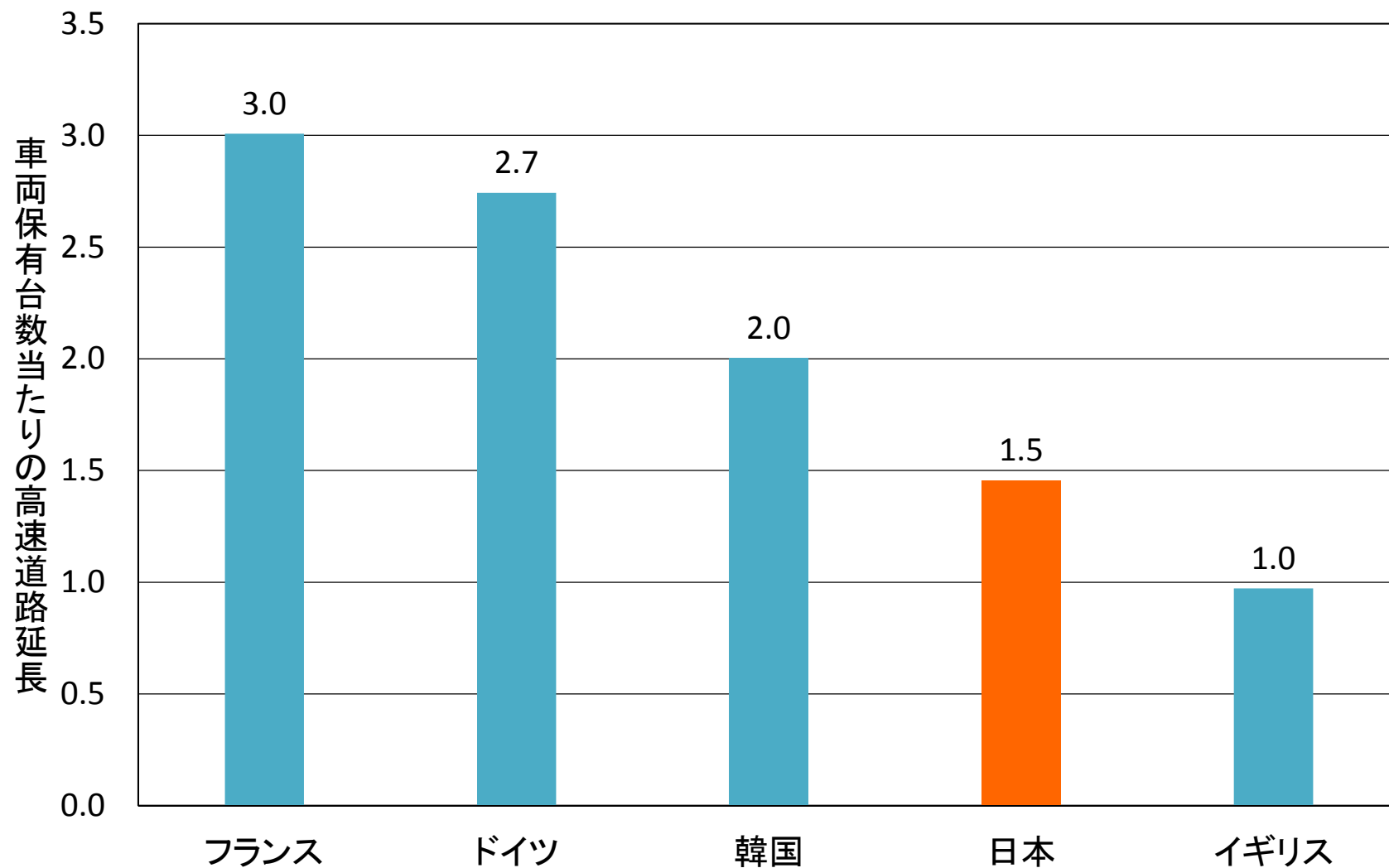
四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある

高速道路の対象) 中国: 高速公路、アメリカ: インターステート(Interstate)
 ドイツ: アウトバーン(Autobahn)、フランス: オートルート(Autoroute)
 日本: 高規格幹線道路、韓国: Expressway
 イギリス: モーターウェイ(Motorway)

出典) 中国: 中国交通年鑑、アメリカ: Highway Statistics
 ドイツ: Verkehr in Zahlen
 フランス: Memento de statistiques des transports、日本: 国土交通省資料
 韓国: 国土海洋統計年報、イギリス: Transport Statistics Great Britain

車両保有台数あたりの高速道路延長の国際比較

(km/万台)



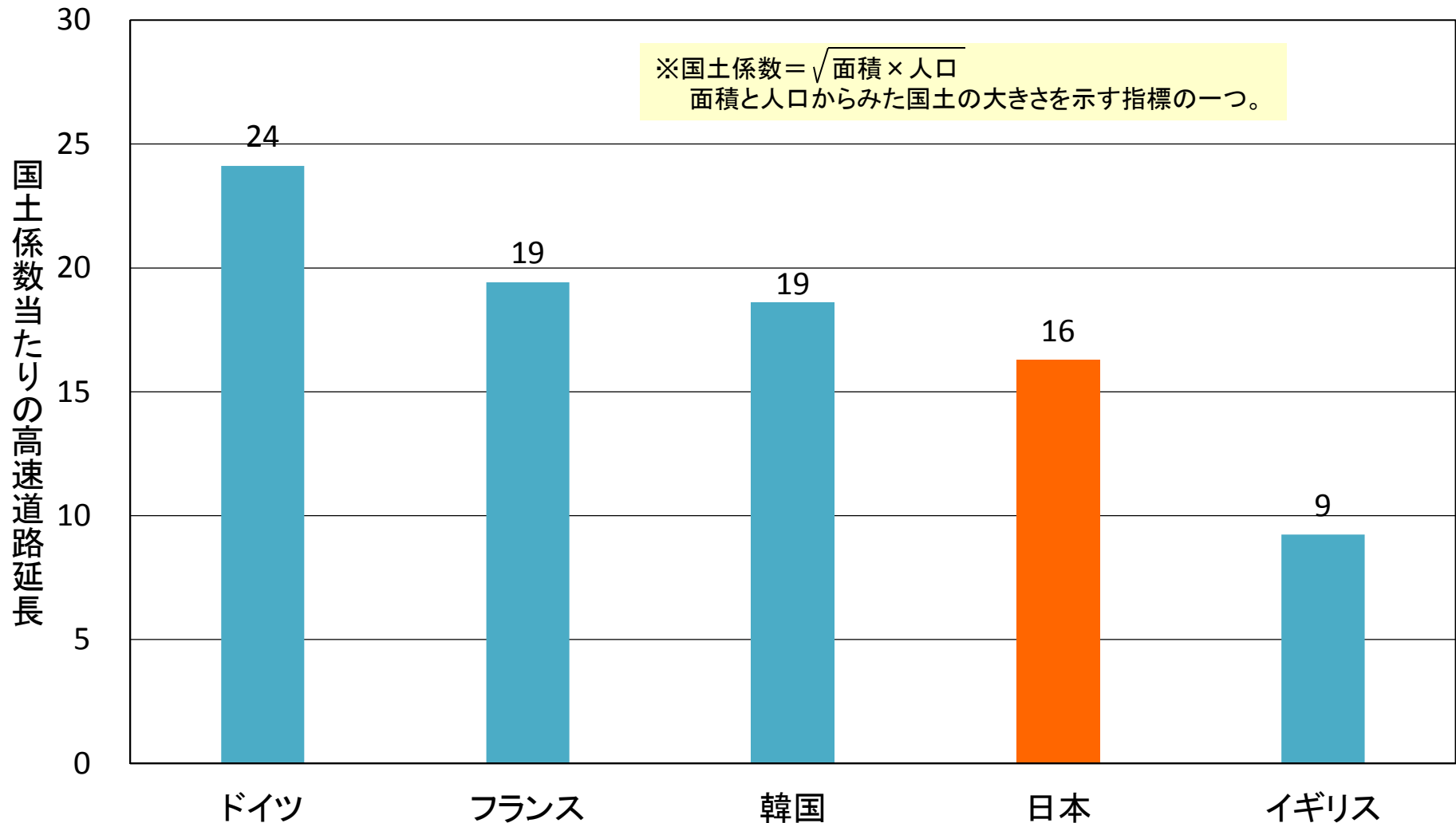
高速道路の対象) フランス: オートルート (Autoroute)
ドイツ: アウトバーン (Autobahn)
韓国: Expressway
日本: 高規格幹線道路
イギリス: モーターウェイ (Motorway)

出典) フランス: Les comptes des transports、Memento de statistiques des transports
ドイツ: Verkehr in Zahlen
韓国: 国土海洋統計年報
日本: 国土交通省資料
イギリス: Transport Statistics Great Britain

※2015年のデータを使用

国土係数あたり的高速道路延長の国際比較

(km/ $\sqrt{\text{万km}^2 \times \text{万人}}$)

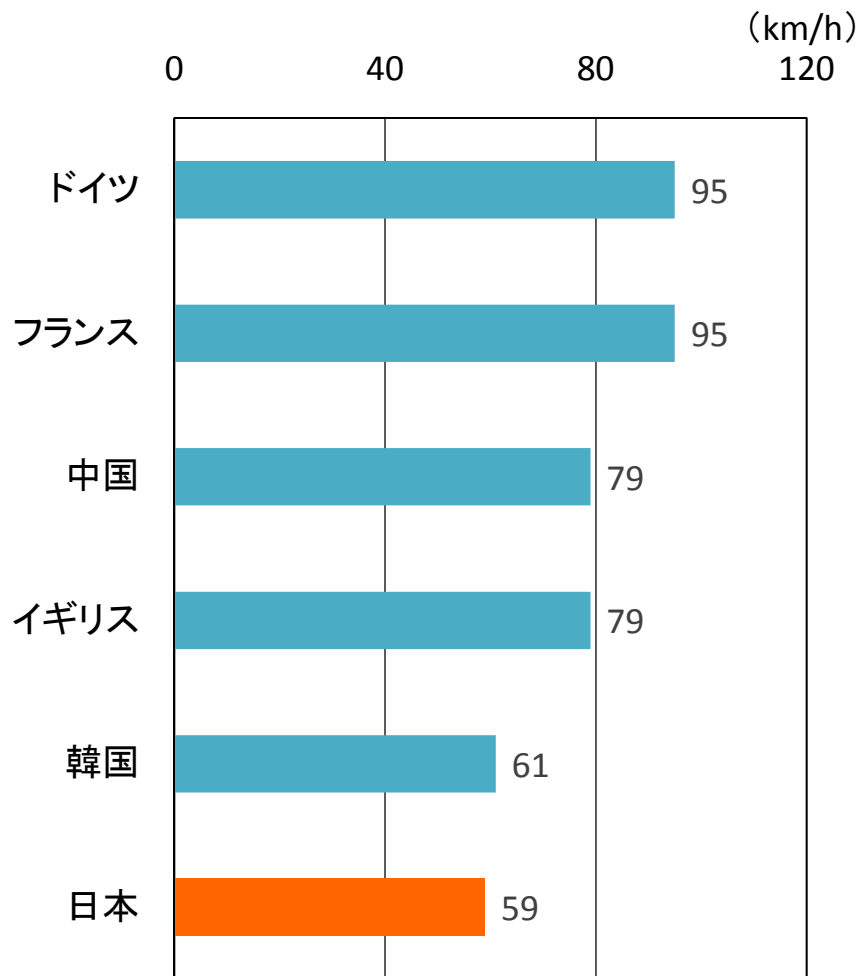


※国土係数 = $\sqrt{\text{面積} \times \text{人口}}$
面積と人口からみた国土の大きさを示す指標の一つ。

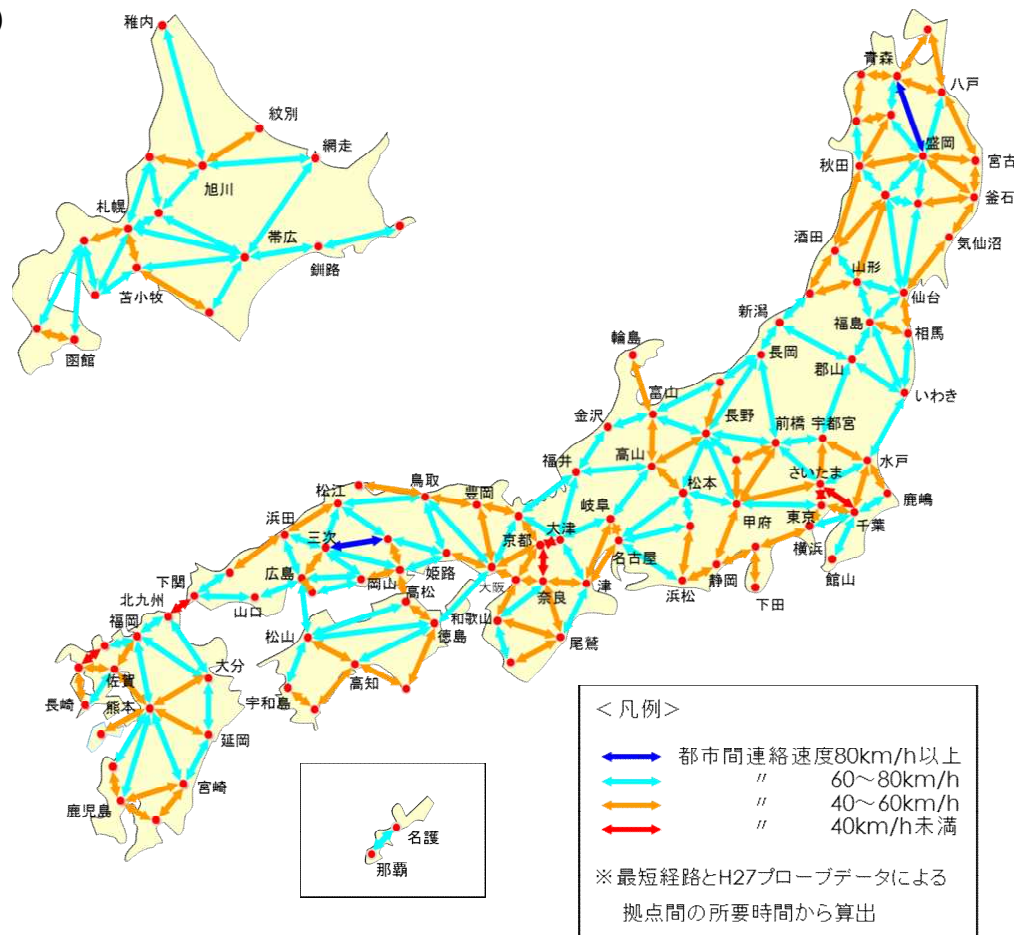
高速道路の対象)ドイツ:アウトバーン(Autobahn) 出典)面積:総務省「世界の統計2017」による2015年値、人口:OECDによる2015年値
 フランス:オートルート(Autoroute) 延長:ドイツ:Verkehr in Zahlen
 韓国:Expressway フランス:Memento de statistiques des transports
 日本:高規格幹線道路 韓国:国土海洋統計年報
 イギリス:モーターウェイ(Motorway) 日本:国土交通省資料
 イギリス:Transport Statistics Great Britain ※2015年のデータを使用

都市間連絡速度の国際比較

[都市間連絡速度(km/h)の国際比較(H27)]



[日本の主要都市間の連絡速度(H27)]

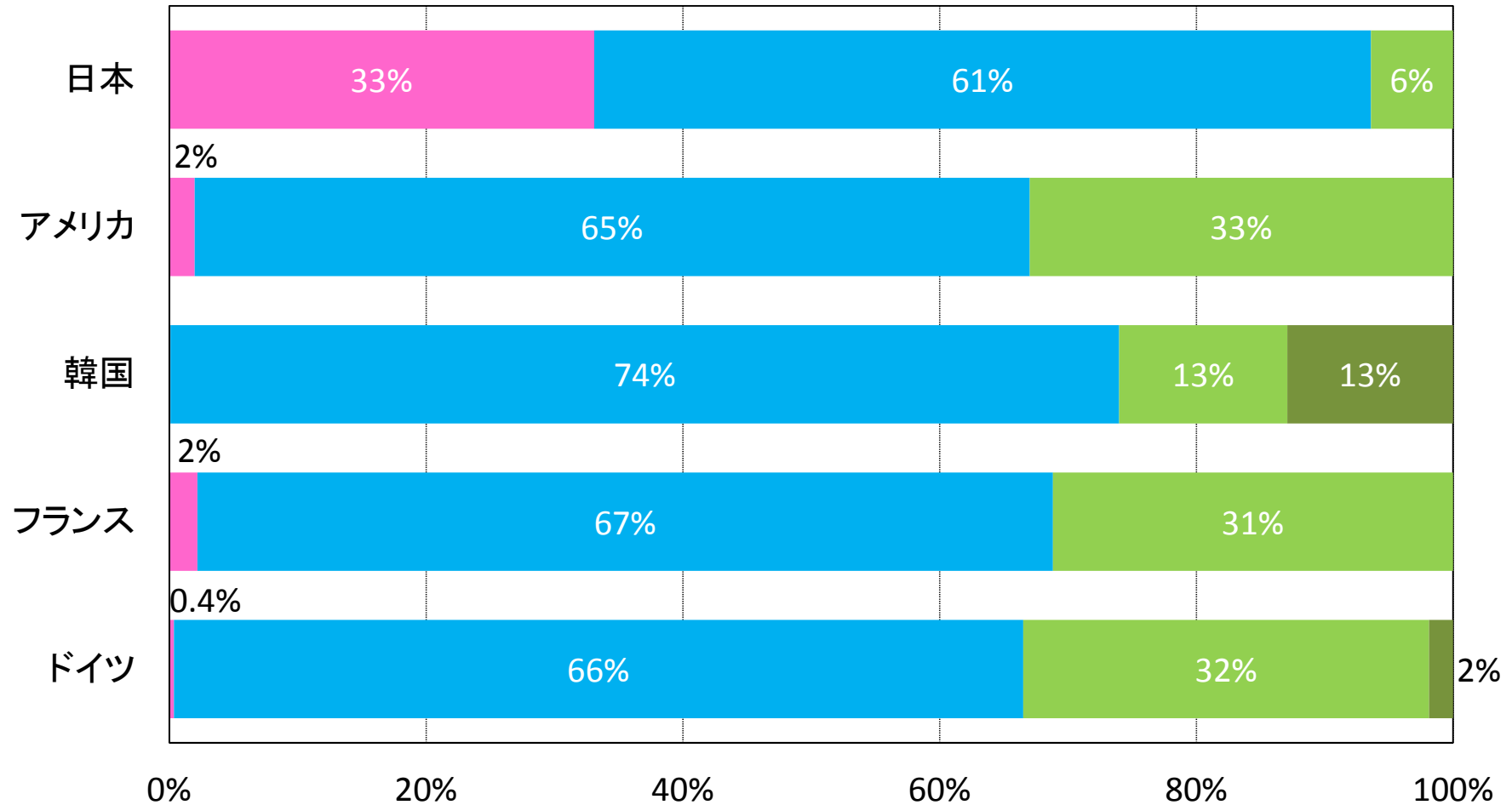


出典) 日本: 2015年度平均旅行速度(208都市間注)、独、仏、英、韓: 2016年7月に計測、中国: 2017年2月に計測
注) 所要時間: 日本は前年度平日昼間平均旅行速度による
諸外国は所要時間経路探索システム(Google Maps等)による
対象都市: 拠点都市※及び一定の距離離れた人口5万人以上の都市及び主要港湾を国毎に設定
注) 日本の都市間ペアは、重点計画のフォローアップ指標として算出した、
高速道路計画に関係しない都市間を除いた208都市間。

※ 拠点都市
日本: 都道府県庁所在地(北海道: 旧支庁)
ドイツ: 州都
フランス: 地方圏庁所在地
イギリス: 地域開発庁(RDA)の所在地
中国: 省都、直轄市
韓国: 特別市、広域市、道庁所在地

高速道路の車線別延長割合の国際比較

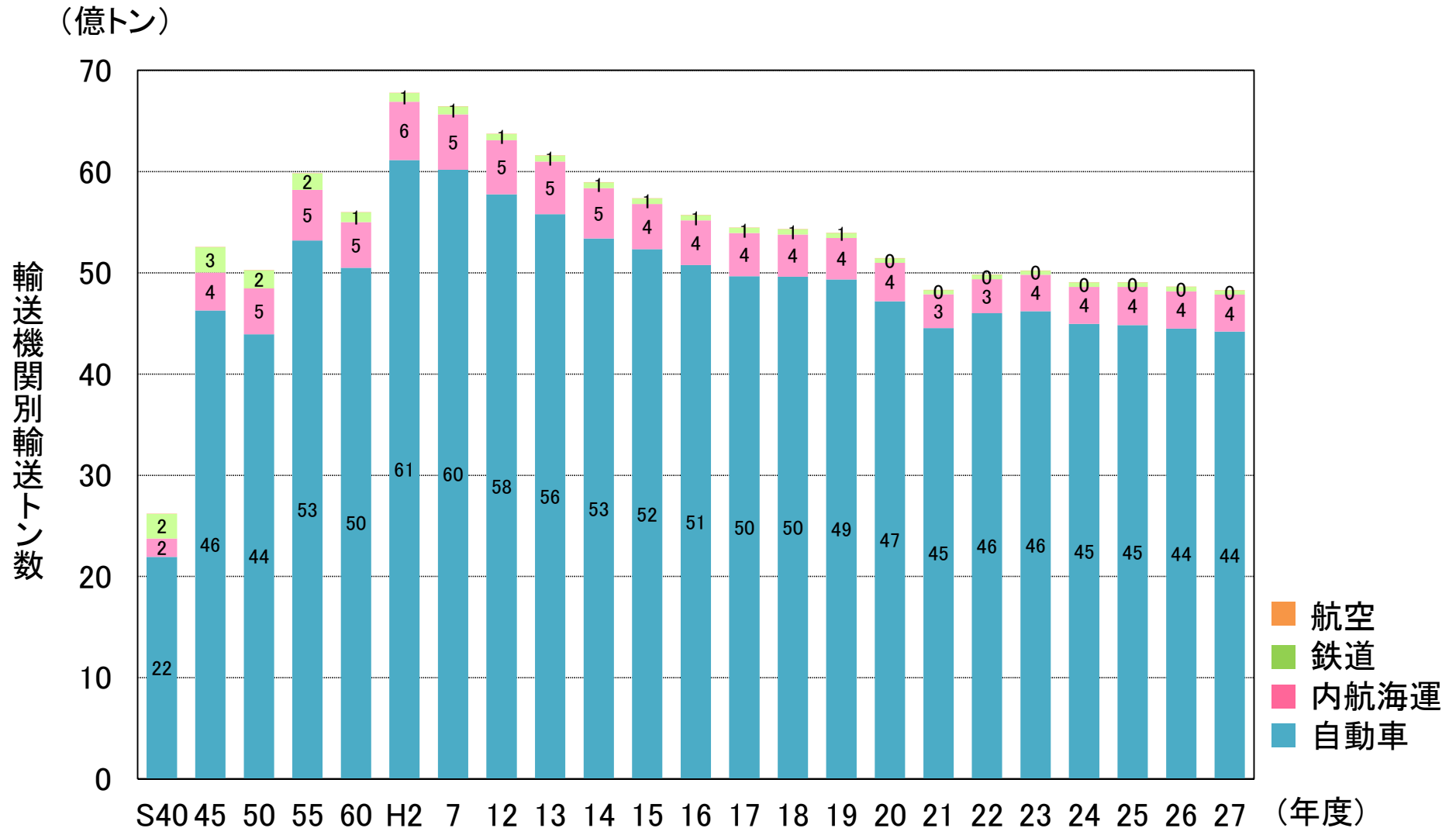
■ 3車線以下 ■ 4車線 ■ 6~7車線 ■ 8車線以上



高速道路の対象) 日本: 高規格幹線道路
 韓国: Expressway
 アメリカ: インターステート (Interstate)
 ドイツ: アウトバーン (Autobahn)
 フランス: オートルート (Autoroute)

出典) 日本: 国土交通省資料 (2010末時点)
 韓国: 国土海洋部統計年報 (2015)
 アメリカ: Highway Performance Monitoring System 2012 (FHWA)
 ドイツ: Straßenverkehrszählungen 2010 (BSsT)
 フランス: Voies par chaussée sur le réseau routier national (2014)
 ※各国、最新年度の調査データを使用

日本の輸送機関別輸送トン数の推移

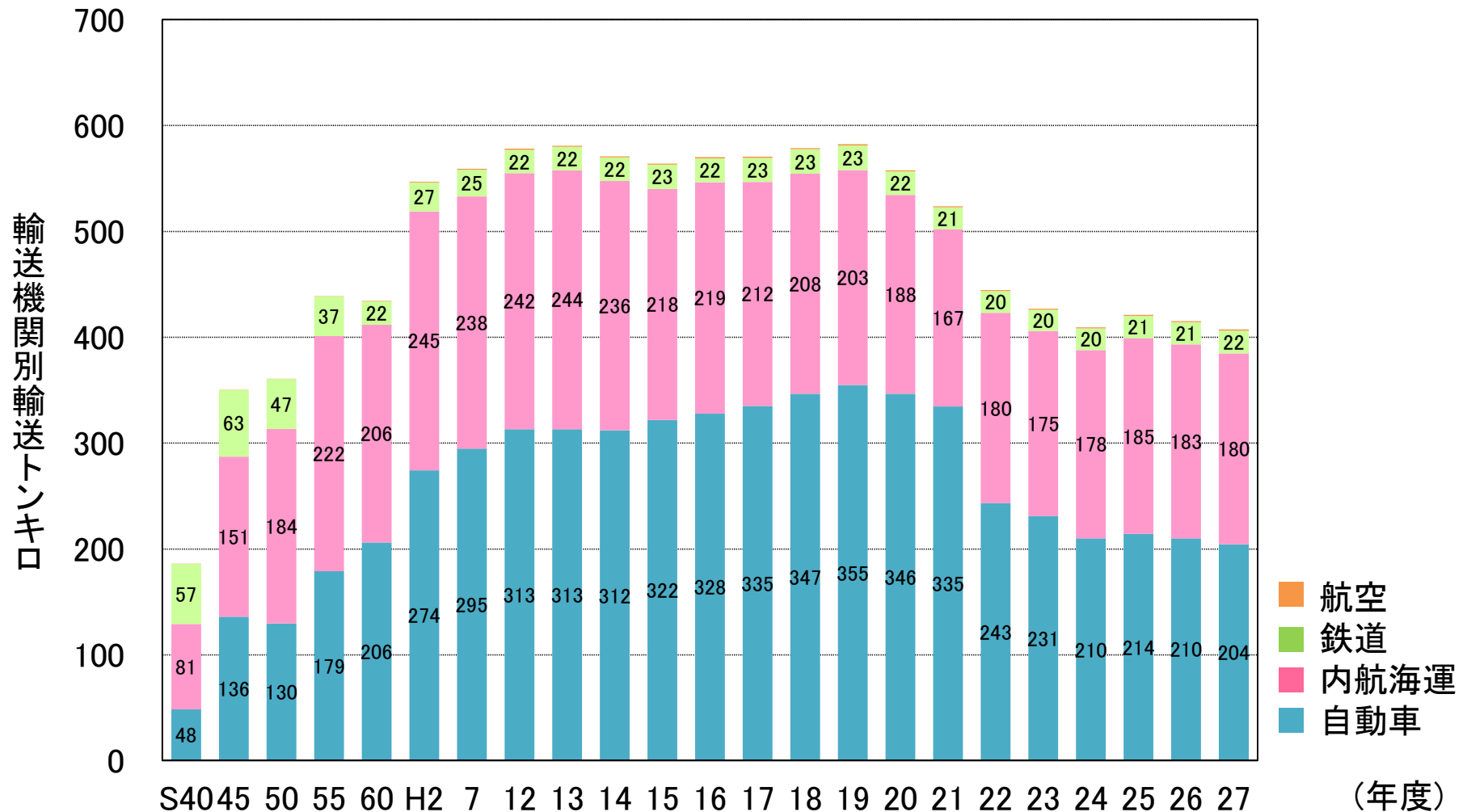


出典)国土交通省「交通関連統計資料集」(各年版)、「自動車統計年報」(各年版)、「鉄道輸送統計年報」(各年版)、「内航船舶輸送統計調査」(各年版)、「航空輸送統計調査」(各年版)

- 注) 1. 昭和62年度より軽自動車を加えたので、昭和61年度以前と連続しない。
 2. 鉄道は有貨のみ。
 3. 自動車輸送は、平成22年10月より、調査方法及び集計方法を変更したことに伴い、平成22年9月以前の統計数値の公表値とは、時系列上の連続性が担保されない。また、平成22年度の数値には、平成23年3、4月の北海道運輸局及び東北運輸局の数値(営業用バスの走行キロを除く)を含まない。
 4. 自家用貨物自動車の軽自動車が除外され推計となった。自動車には自家用軽の推計値を含む。

日本の輸送機関別輸送トンキロの推移

(十億トンキロ)



出典)国土交通省「交通関連統計資料集」(各年版)、「自動車統計年報」(各年版)、「鉄道輸送統計年報」(各年版)、「内航船舶輸送統計調査」(各年版)、「航空輸送統計調査」(各年版)

注)1. 昭和62年度より軽自動車を加えたので、昭和61年度以前と連続しない。

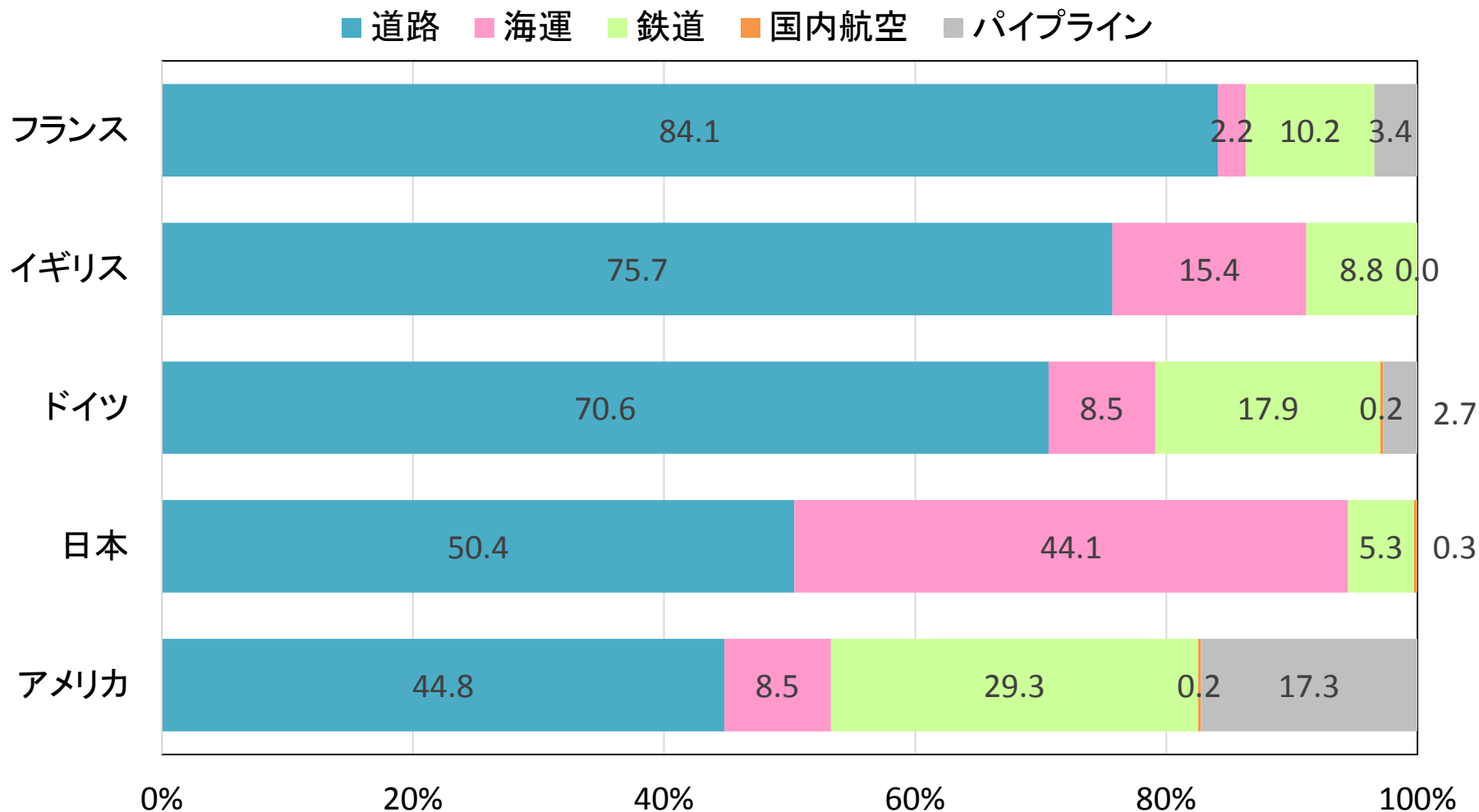
2. 鉄道は有貨のみ。

3. 自動車輸送は、平成22年10月より、調査方法及び集計方法を変更したことに伴い、平成22年9月以前の統計数値の公表値とは、時系列上の連続性が担保されない。

また、平成22年度の数値には、平成23年3、4月の北海道運輸局及び東北運輸局の数値(営業用バスの走行キロを除く)を含まない。

4. 自家用貨物自動車の軽自動車及び自家用旅客自動車が除外された。

主要国の貨物輸送機関分担率(トンキロ)の国際比較



出典) 日本：国土交通省「交通関連統計資料集」、アメリカ：「National Transportation Statistics」、イギリス：「Transport statistics Great Britain」
 ドイツ：「Verkehr in Zahlen」、フランス：「Les comptes des transports」

注) 1. 日本は年度値で、貨物車は軽貨物車を含む。

2. ドイツは国内間の輸送のほか、ドイツを発着する国際輸送及びドイツを通過する国際輸送のうちドイツ国内で行われたものを含む。

※2015年のデータを使用